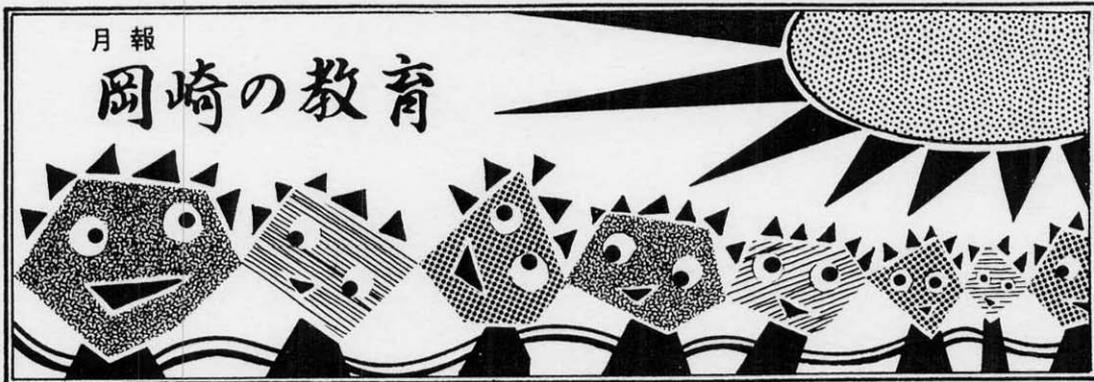


月報

岡崎の教育



3 月 号

昭和62年3月1日
 発行／編集
 岡崎市教育委員会

さあ 飼育当番だ
 授業終わりの合図と共に
 外へ駆け出して行く

校庭の一角の飼育小屋
 白いうさぎの耳がびくっと動く
 「待ってたかい」
 「たくさん食べろ……」

柔らかな小さな手は
 赤い人参を差し出した
 手のひらから
 小さな生命のぬくもりを感じる

生き物とのふれ合いで
 生命の尊さを
 学びとってくれる事を信じる

へふれ合い



(力いっぱい—小豆坂小)

私の世代は、戦前、戦中、戦後の激動の時代を生きてきたため、想像を絶する体験をさせられた人が多く、私も大きな影響をうけた一人である。

私が軍隊に召集された頃は、戦局は苛烈になっていった。出征するとき「再び生きて故郷を見ることはできないかも知れない」という思いが胸にこみ上げてきた。入隊してからいろいろなことがあったが、その一つは「幹部候補生に合格し、将校



格になった者も、運命を共にした。私もあの時意欲していたなら、戦死してしまっただ筈である。

戦後生きて帰ることができ、軍隊生活をふり返って「はじめに努力していても戦死した人もあれば、また怠けていても生き残った人もあるだろう。しかし私はいつも全力を出してきた。そのおかげで生き残ったような気がする。」というのが

になると戦死する割合が、普通の兵士より数倍高くなる」と言われたことである。そのため幹部候補生試験で、わざと不合格になるようにした者もあった。私は当時若く、純粹に尽忠報国の念に燃えていたので「お国の為なら、戦死するも止むを得ん」と思い、全力を尽くしたら合格した。そして陸軍予備士官学校へ入校した。その直後、部隊はサイパン島へ出動し、全員玉砕してしまった。わざと不合格

— 教育随想 —

天命によって 人事を尽くす

神谷卓爾

私の思いである。

この体験から私は今後生きる限り、いつでも、どこでも全力を尽くすようにしようと思った。そして諺の「人事を尽くして天命をまつ」姿勢よりも「天命によって人事を尽くす」というのがよいと思った。それは如何なる悪い状況になっても「これが天命なら、この中で全力を尽くしてみせる」という気持ちでいると、

何事に対しても不平不満は起こらない。人間はどんな時でも、人事を尽くすことが大切である。だからどんな学校へ転任させられても、これが天命と思えば不満も起こらなかった。どこの学校へ行っても、子どもは同じである。子どものため全力をあげていると、栄転などねらって不満を持つことなど、実にくだらぬことだ、という気がした。このように気持ちでいたので、比較的平静に教育の道を歩きつづけることができたような気がする。

教師生活四十余年の間、私は常に「子どものためになることは、どのようなことか」ということを追求し、その姿勢を貫いたつもりでいる。したがって退職した現在でも、あまり後悔することはない。しかし、神や仏でない人間のかなしさで「教師は子どものためと思って善意でした事でも、自分が未熟なために、無意識、無自覚のうちに、子どもに対して罪を犯してしまうことがある」という事実のあることを、身にしみて反省している。

「逢い難きは友」という言葉があるが佐藤玄彦先生をはじめ、多くのよき先輩、同僚にめぐり合うことができ、私の人生を豊かにしてくれたことも、「天命によって人事を尽くす」気持ちで人に接していたからだ、という気がしてならない。教育が人と人との心の交流である限り、生徒をはじめ、すべての人に対する心の持ち方如何によって、その人の人生が豊かになるものである、と私は信じている。

(岡崎女子高等学校学監)

子供の心をとらえる教師の体験

社会科指導員

中山 昌司



どうしたら、子供の心を引きつけることができるだろうか。毎日の授業の中で教師だれもがいつも考えていることである。授業者の話術、発問の適否、資料の使い方等、いろいろな要素が考えられるそんな中で、Y先生の社会科の授業から学んだことがある。

「これは、現地地撮ってきた写真です。」と言って、エジプトの巨大なピラミッドの写真がTPで提示された。その大きさに改めて驚かされると同時に、「よくこんなに積み上げたものだ」「つくるのに何年かかったのか」「石はどこから持ってきただろう」「内部はどうなっているのか」

疑問はふくらんでいった。学習へ取り組む子供たちの目は生き生きと輝き、充実感のみなきった授業となった。

先生が現地地で見えた印象がつけ加えられていくことで、子供たちはさらに引きつけられ、次々と知りたい疑問がとび

ふるさとシリーズ

— この人に聞く —



親 謡 会

奥瀬 文雄 氏

伝馬通の呉服店「おくせ」は、昔ながらの落ち着いた店構えて、店先には能衣装を思わせる着物ががざられている。

通された部屋は、正面に金びょうぶが立てられ、香がたかっていた。すみには謡曲に使われる道具がきれいに整頓して置かれている。

部屋が能のたたずまい。

岡崎の謡曲の仲間を集めて作られた「親謡会」の会長として、謡曲の普及、研鑽につとめておられる。

謡曲の魅力は何かと不躰な質問に、「幽玄の心ですよ。」と一言。

素人にはちよつとわかりにくいお返事に、重ねて、幽玄の心とは？とお伺いする。

「ながむれば 花ももみじもなかりけり うらのとまやの 秋の夕暮れ」という境地ですよ。」

に、ますます謡曲が霧の中という感じがしてくる。

「いや、謡曲というものは、そんなにむずかしいものではありません。誰にでもできます。ただ、入り口はせまいですが奥は深いですよ。」

というお言葉。

そのせまい入り口を、どうしてみつけれられたのだろうか。

「若い頃、自宅に岡崎女子高の先生が下宿され、その方が親世流の謡曲をやっておられました。私は、いつもそれを聞いておりまして、自然と入ることができました。自分ではじめたのは、二十才の頃からです。」

してみると、大正四年のお生まれだから、もう五十年以上もこの道の研鑽を積まれていることになる。しかも、今だに師についてならつておられるとのこと、その息の長さに、なにか人間的な重みを感じる。

市のロータリーの会長でもあり、忙しいなかを、取材のために時間をさいてくださったり、謡曲についてのくわしい資料まで用意してくださった。

「謡曲をやっておりますと、呉服の柄をきめるにしても、能衣装からのヒントで



選ぶようになります。能というものは、余分なかがりを捨て去り、本質だけが残されていますから、着物にしても、いつまでもあきのこないもの、幽玄味のある柄が選べるんですよ。」

伝統芸術普及のため、氏が中心となつて能舞台建設を市に働きかけ、承認されたとのこと。近々適地を選んで建設される見通しということである。

謡曲のテーマ「松風」をきかせてくださる。

「これが幽玄ですよ。」心洗われるおもいで帰路についた。

生年月日 大正四年十二月三日
住所 岡崎市伝馬通二丁目12

出してきた。子供の心をとらえ、授業に集中させる上に、教師の体験がより効果をあげるものだと、このことを改めて認識させられた授業であった。

一歩ずつ

図工・美術科指導員

長坂 正延

M先生は六年生の担任。

しゃべり声ひとつしもない教室。ただペンの動く音だけががすかに聞こえる。声を出させないのではない。出している暇がないといったほうがよい。何ものにも変え難い緊張感がある。ただひたすらにモデルを見つめる子供達。四ツ切の大きな画面が自信に満ちた、力強い線で埋まってくる。数名ではない。クラス全員がそうだから見事というほかはない。

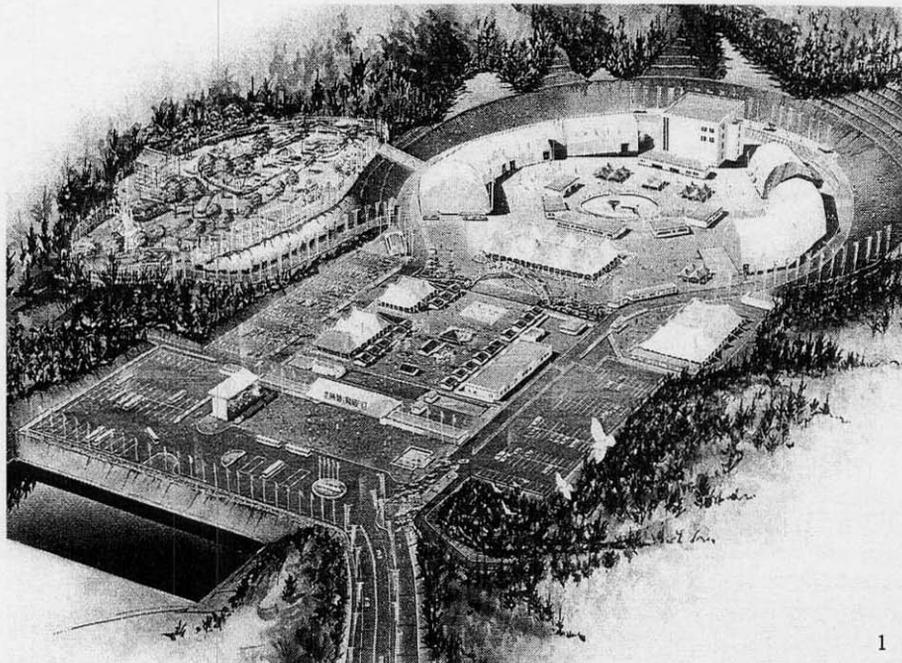
割りばしペンを使ったスケッチの授業であった。

「よく見てかください。授業中、我々は何度この言葉を口にするか。どこをどう見れば良いか。こんな不親切な一言はぜひ避けたいと思う。」

M先生のすばらしい授業の裏には、毎時間、少しずつ繰り返してみえたクロッキーの指導がある。描画材料、紙質、時間、線描材などへの心配りがある。地道な、そして着実な指導の積み重ねがすばらしい子供を作るといふ見本であろう。

「ぼく自身絵が好きになって来たですよ。」M先生の言葉が印象的であった。

開幕間近 葵博



1

市制七十周年を迎え、二十一世紀へのスタートとしての記念事業「葵博'87」を取り上げ、事業を推進するために働いている人々や工事の様子を取材した。私達が、最初に会場を訪れた一月二十四日は、雨上がりの夕方であった。まだ整地されていない地面はいてつき、歩くたびに靴が泥の中に埋まってしまいそうになった。ヘルメットを借りて「テーマ館」「五万石城下町」の作業現場を見せてもらった。鉄骨トラスの組み立て作業の火花が飛び散り、江戸時代の町並が姿を見せ、あちこちで槌音が響いていた。整地のための作業に余念のない人々の姿も見られた。

またの日、岡崎市制七十周年記念事業実行委員会を尋ね、事務局長石原武氏に葵博の構想・実現に至るまでの経過等をお聞きした。熱っぽく語られる氏の表情に、この催しにかかる主催者側の意気込みと、未来を託す子供達への並々ならぬ期待が感じられた。事務局を出入りする人々の表情にも開幕を控えての緊張感がみなぎっていた。

開幕まであと三十日「葵博ニュース」六号の紙面には、出来上がった建物や会場の写真と共に、リニアモーターカーや乙川ジャンボ噴水の紹介も掲載され、刻々と迫る開幕の鼓動が伝わってくるようである。

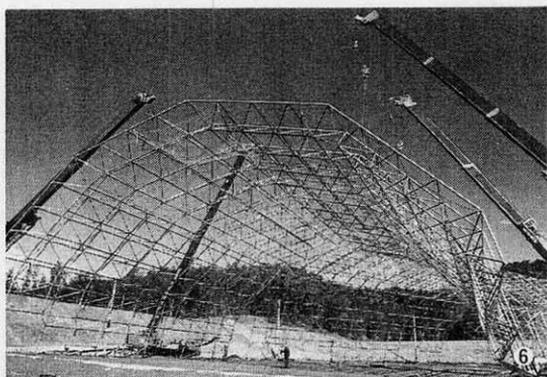


2

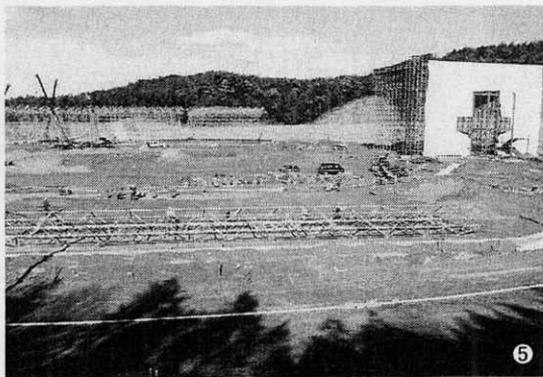
葵博 ニュース



3



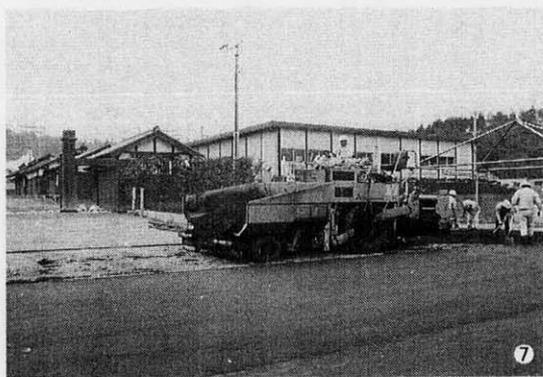
6



5



8

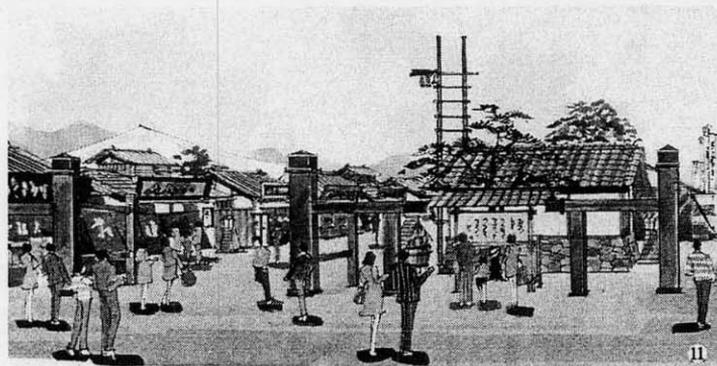


7

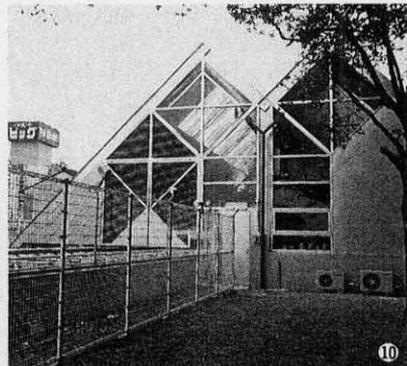


9

- ① 葵博岡崎'87会場完成予想図
- ② 岡崎市制七十周年記念事業実行委員会事務局長石原武氏の熱意のこもった説明
- ③ 電話の応対、来客との打ち合わせなど慌ただしい事務局風景
- ④ 葵博の進展状況を十五日ごとに刻々と伝える葵博ニュースも開幕間近となり十日ごとの発行となっている（最新号あと三十日）
- ⑤ アイマックスシアターの鉄骨完成、産業館鉄骨の地上組み立て
- ⑥ 産業館鉄骨の組み立て完成
- ⑦ 会場入口付近の舗装工事
- ⑧ おまつり広場の大アーチ飾りつけ
- ⑨ メインゲートの右側に設置される竜の石像物
- ⑩ リニアモーターカーHST発着駅（岡崎公園北口から竜城橋まで）
- ⑪ 五万石城下町のイメージ図



11



10

● 個人研究の部

61年度教育研究論文入選者

最優秀賞

氏名	学校名	教・領	研究主題
兵藤悦子	梅園	体育	運動する楽しさを追求する体育指導
山本悟	東海	英語	効果的な英語指導を求めて

応募総数 484 (1)

小学校 個人	287	中学校 個人	116
(園) 共同	47	共同	34
	(1)		

優秀賞

山本頼永	緑丘	国語	意欲的に書くことをめざした1年生の作文指導
加藤由美子	連尺	〃	より豊かに読みとるためにIII
竹内春美	本宿	〃	郷土教材を使って郷土認識を深めつつ豊かな…
三井朋子	常磐	〃	5年の国語指導
奥田恵子	矢南	〃	楽しく音読し読みを深める物語文の指導
阿部育代	六北	〃	感動からの創造
神尾昌彦	広幡	社会	問題意識を高め追求力を深める社会科の授業
小栗正貴	藤川	〃	自ら学ぶ社会科の授業
高橋誠	本宿	〃	郷土の事象を通して学習課題を追求する
前田康幸	〃	〃	地域教材を学びながら全国の問題へせまる授業実践
田中俊二	大門	〃	考えを深く合える追求のあり方
蜂須賀渉	大樹寺	算数	日常生活の中から問題を見つけ、意欲的に…
小倉敏幸	梅園	理科	問題意識に連続する理科学習
土田修義	三島	〃	主体的な理科学習の在り方を求めて
市川敏彦	常磐	〃	自然を愛する理科指導
鈴木武細	細川	〃	ひとり調べを通して、子ども一人ひとりの…
神谷敏子	矢南	〃	ひとり調べを軸として、共に高め合う子どもを…
富田秀子	藤川	音楽	感動を高め合う音楽教育
香村敏之	岡崎	図工	絵画表現の基礎的な力をつける
滋野井貴子	山中	〃	イメージを具体化する過程を大切にした版画指導
山本照司	井田	体育	目あてをもって仲間とともに励む体育学習
河合安男	愛宕	〃	自己教育力を育てる体育学習
斉藤敏子	六南	〃	運動に親しみ進んで運動する子の育成
柴田輝夫	広幡	道徳	道徳の実践力を高める道徳指導
太田恭子	矢南	特活	思いやりのある学級づくり
三浦裕昌	小豆坂	〃	思いやりの心育てる数学学習
中山秀昭	恵田	図書館	本を読む、読んで感じる子を育てる試み
清川久美子	美合	教育全	父母と教師、手をとりあって
二橋慶子	恵田	〃	交流の川
野々山宏司	甲山	国語	生徒の参加量を高める指導の工夫
石原比朗志	竜南	〃	叙述へのきりこみから読みを深める指導
高須亮平	常磐	数学	わかり、できる数学を求めて
水野昌孝	数津	〃	考えを育てる数学指導
川瀬哲夫	美川	理科	意欲をもって自ら考える生徒の育成をめざす理科学習
梅村弘美	電海	音楽	音楽を創り上げる喜びを味わわせる授業
赤崎頼子	新香山	美術	満足する作品づくりをめざした描写力向上のたて
栗田錦治	美川	体育	楽しさ、喜びを深める体育学習
桜井恵子	電海	〃	意欲化をはかる体操指導について
竹内文子	南	技家	身近な生活の中から問題を見つけ自主的な学習態度を
三浦みどり	葵	特活	仲間と共に高め合う心育てる学級づくり
岩瀬則次	〃	教育全	葵中教育活動の見直しと改善のための…

佳作

後藤志津代	梅園	太田信政	井田
柴田光子	男川	村上本芳	梅園
近藤喜美子	美合	山上佳己	城南
明保恵子	〃	渥美久美子	根石
山下登	緑丘	鈴木正純	連尺
内田純子	六名	伊藤淑子	〃
野勢裕子	福岡	金指由香里	大門
青木真智子	本宿	渡辺 修	上地
樋口利夫	岩津	木多末子	男川
三宅祐子	矢東	粕谷京子	福岡
倉橋正博	六北	野村美渙	大樹寺
松井伸市	城南	平山多美江	常磐
藤井隆弘	梅園	相場のり枝	恵田
福応謙一	梅園	鈴木純子	連尺
佐々木俊輔	根石	大山一哲	西尺
梅村京子	愛宕	小林勝哲	連尺
小川真奈美	編川	近藤伊三雄	大門
岡本孝幸	大樹寺	野々山周次郎	南
中川朗子	梅園	長島かよ子	福岡
鈴木誠	細川	高木和広	美川
原田尚子	大樹寺	板倉常治	東海
平岩浩文	広幡	岩附広行	東海
板倉敏之	福岡	田村康則	六ッ美
池田康子	本宿	山口直純	甲山
伊藤きそ	〃	神谷秀光	矢作
金原さき	〃	酒井正子	竜南
早川正彦	恵田	高木理人	甲山
河合敏博	細川	安枝康則	河合
桑木富士子	大樹寺	尾崎芳信	甲津
三浦洋子	梅園	石原博文	甲山
安藤悦子	恵田	三浦倫夫	美川
四宮和子	竜美丘	萩須惠美	甲津
菅沼和子	細川	蓮尾 均	岩山
杉原恵美子	大門	石川利博	美川
鈴木明	梅園	星野幸子	常磐
太田予一	広幡	稲垣幸一	電海
犬塚尊夫	井田	杉坂美典	葵

● 共同研究の部

最優秀賞

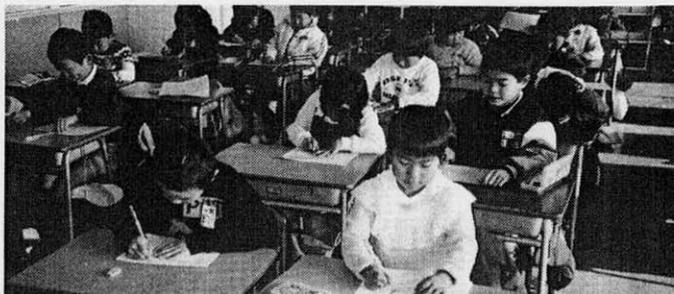
1年部会	大門	道徳	道徳の実践力を高めるために
音楽部	六ッ美	音楽	わかる、できる、そして感動へと深まる音楽学習

優秀賞

1年部会	六北	国語	音読の基礎をふまえて読みを楽しくさせる学習
2年生部会	上地	社会	観察・表現の活動を通して
理科部会	福岡	理科	人間のもつ可能性の開発、とくに考える力の…
現職教育研究部	連尺	生活	基本的な生活習慣の育成と徳性のかん養をめざす実践学習
現職教育部	恵田	教育全	自然とのふれ合いを通して、たくましく生きる…
2年部会	岩津	生活	学年目標「日本一」の実現をめざして
二瓶千秋・坂田裕史	〃	数学	興味をもって自ら学ぶ数学学習を目指して
電海中美術部	電海	美術	創造力を高め豊かな情操を養う木版画指導
現職教育部	河合	教育全	安全な生活をめざして意欲的に取り組む…

佳作

3年グループ	羽根	現職教育部	三島
2年社会科部会	細川	幼稚園研修部	梅幼
3年社会科部会	〃	国語部	六ッ美
6年部会	矢東	社会科部会	矢北
算数2年部会	常磐	葵中数学部	葵
2年部会	矢南	休部(神尾心一)	〃
2年部会	上地	英語部	竜南
5年部会	連尺	現職教育部	新香山
現職教育部	男川	現職教育部	東海



緊張の

ひととき

矢東小 芳野 映

一月十三日、中京テレビ局が「ドレミファサンデー」収録のために来校した。

NHK学校音楽コンクール県最優秀賞を受賞した合唱部の活動や、一年生の作文タイムの様子を撮影である。

「先生、テレビのおじさんたちまだ来ないの。」
教室の窓越しに、今か今かと待ち遠しい子どもたち。
物珍しさの余り、興奮しないだろうか、いつものように書けるだろうか、心中は右往左往。子どもたちを信頼し、その場に応じたてだてをするよりない。やっと、車三台で大勢の人がやってきた。
午前十時、撮影開始。

きのう、わたしは、テレビのさつえいのおじさんたちがきて、むねがいたくなくなりました。
だから、さくぶんがなかなかかけませんでした。さいしよ、「せんせい。あのね」か、「きのう」かでまよいました。でも、きまつてかきはじめたら、すこしむねのいたみがおりました。
きのうは、一まいしかかけなかつたけど、おとついは二まいもかいたのに。

これは、撮影の翌日に、作文タイム十五分間で書かせたものである。
冬休み後一週間、作文する力

は弱くなっている。そこで、事前指導として、テーマ「おとうさんのくせ」について調べさせておいた。

テーマが子どもの身近な話題であることが大切である。
しかも、このカメラのフラッシュのなかでの緊張をとくために、適切な例を机間巡視のなかでメモしておいた。



N子の登校

岩津小 橋本美智子



「お母さんと来ます。」という姉の伝言を信じて、N子が登校してくるのを今か今かと待った。朝のかけ足の時に来るかしら。弟の登園の時間には来るかしら。結局N子はこの日姿を現さなかつた。この四月入学してきたN

子の登校拒否が始まったのは、二学期の終わり頃だった。

「どうしても学校へ行きたくない」と言いはるので、きょうのところは休ませます。」という母親からの連絡を受けた。理由を尋ねてみると算数がわからないという。さつそく翌日いっしょに復習すると、「わかつたよ。算数がすきになつた。」と笑顔のN子にもどりホツとしたものの、なぜかわだかまりが残つた。
私の心配していたことがあつたのか、N子の言い分はあれこれと変わり、休む日が多くなつた。

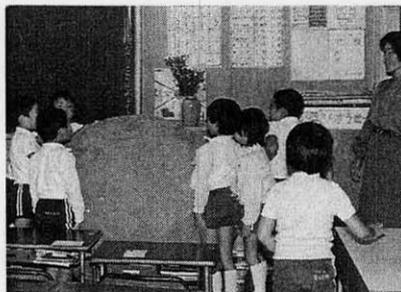
指導していくうちにN子が母親のことを次のように思っていることが分つてきた。小学校へ入学してからは保育園に通っていた時のように母親が送つてはくれず、保育園へ通う弟だけを送っていく。それにどうも最近母親が自分をかまってくれない。弟ばかりかわいがっている。こんなことからこれでは母親を弟にとられてしまうと危惧の念を抱きだしたようだ。そこで精一杯母親の関心を自分にひきつけようと母親を困らせる作戦をとつたようだ。登校拒否し、一日家にいればきつと母親を独占できると考えたのだらう。母親が

いくら注意してもこどもも動かないN子になってしまった。

しかし、私が家まで迎えにくくと実に素直に登校し、学校での生活も生き生きとしている。教師や学校生活までは拒否するに至っていない。そこで今のうちに母親の言動をうまくN子の心をひきつけるようにもつていくことが必要で、これでこの件は解決できると判断した。

さつそく母親に、N子と二人の時間を多くとるように、母は弟をかまうが自分のことをそれ以上に想っていてくれるのだと思わせるように、意図的な言動をとらせることにした。

このためか、三ヶ月経た今では、学校を休むことはなくなつた。しかしまだ完治とはいえない。



一年のあゆみ



▶ 閑静な住宅地ひばりが丘の中心に、岡崎市第十六番目の中学校「竜南中学校」開校(4・1)

4・1

- ・新規採用教員一〇二名辞令伝達式
- ・竜南中学校開校
- ・視聴覚ライブラリーが太陽の城へ移転
- ・福岡小学校・連尺小学校・大門小学校・本宿小学校
- ・藤川小学校・竜海中学校 松下視聴覚教育研究助成校に決定

4・18

- ・現職教育委員会総会(甲山中学校・根石小学校)
- ・第13回子どもまつり(菅生川河川敷)

5・4

- ・第30回岡崎市中学校総合体育大会
- ・常磐小学校、学校環境緑化日本一

5・11

- ・上地小、FBC春花壇奨励賞

6・24

- ・ニューポートビーチ市より中学生四名校長夫妻来岡
- ・市制施行70周年記念式典で教職多年勤続者33名表彰
- ・岡崎市小学校球技大会開始

6・25

- ・第39回岡崎市中学校市長杯総合体育大会開始
- ・第13回岡崎市民大学開講(セキレイホール)

7・1

- ・岡崎市小学校球技大会開始

7・21

- ・第39回岡崎市中学校市長杯総合体育大会開始
- ・第13回岡崎市民大学開講(セキレイホール)

7・27

- ・「教育の権威」
- ・「戦史小説と歴史小説」

7・30

- ・「無機イオンと生命」
- ・「無重力、この不思議な世界」

8・1

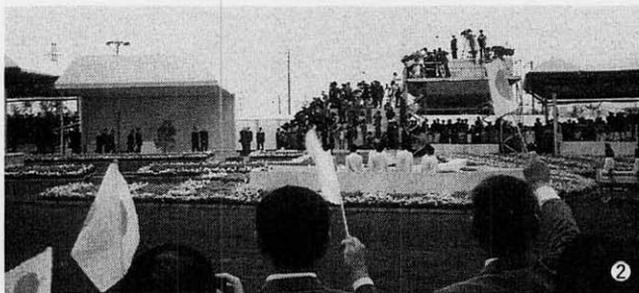
- ・「野球と人生」
- ・全日本バレーボール小学生大会(東京) 山中小男子竜美丘小女子県代表として出場

8・13

- ・「野球と人生」



1

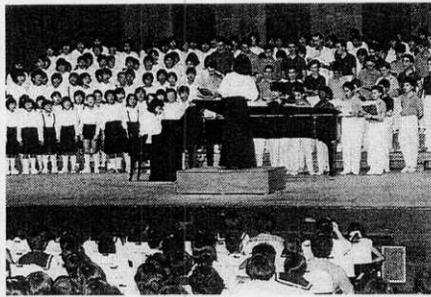


2



3

- ① 第13回子どもまつりが会場を菅生川河川敷にもどして行なわれた。子ども相撲(4・5)
- ② 環境緑化日本一の常磐小学校の表彰が天皇陛下列席のもと大阪で開催された。(5・11)
- ③ 第30回中学校総合体育大会が滝町の県営グラウンドをはじめ各校で開催された。(5・11)
- ④ ニューポートビーチへ四名の中学生が出発。中学校での歓迎会。
- ⑤ 第23回造形おかざきっ子展が起伏ある世界子ども美術館の地を利用して開催。(11・2)



▶パリ少年合唱団の演奏会が市民会館で開催された。すばらしさに感動した。(7・30)



▶市制施行70周年記念式において教職多年勤続者の表彰も行った。

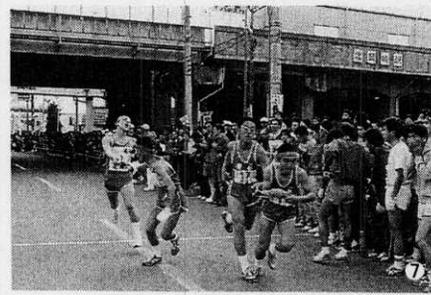
3 7	2 14	1 8	12 25	12 4	11 23	11 15	11 2	10 26	10 12	10 10	10 8	10 2	10 1	8 19
・ 県芸術文化選奨文化奨励賞	・ 東海三県学校図書館奨励賞	・ 東海三県学校図書館奨励賞	・ 第13回冬期研修会	・ 全国自作視聴覚教材コンクール	・ 日本視聴覚教育論文、文部大臣賞	・ 第14回岡崎のハーモニ	・ 第23回造形おかげざっ子展	・ 岡崎市小学校陸上競技大会	・ 岡崎市中学校新人総合体育大会	・ 岡崎市小学校陸上競技大会	・ 岡崎市教育委員会長後藤朋美氏の後任	・ ニューポートビーチ市へ4名の中学生出発	・ ソニー理科教育最優秀校	・ 愛知県鳥獣保護実績発表大会
・ 矢作南小	・ 文部大臣賞	・ 文部大臣賞	・ 加藤由美子教諭	・ 三浦重光教諭	・ 美川中	・ 世界子ども美術館	・ 世界子ども美術館	・ 加藤正男氏、青山菊保氏、能見神明社、美合小ホテルクラブ、岡崎市スクールバ	・ 福岡小、恵田小	・ 藤岡小、恵田小	・ 藤岡小、恵田小	・ 藤岡小、恵田小	・ 藤岡小、恵田小	・ 入選野鳥の会支部長賞
・ 矢作中合唱部	・ 広幡小	・ 広幡小	・ 佳作2点	・ 渡辺勝英教諭	・ 緑丘	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小	・ 恵田小



5



4



7



6

⑥第13回冬期研修会が少年自然の家において多彩な講師により開催される。(12・25)

⑦第38回岡崎市民駅伝競走大会が六名公園運動場を発着点として開催される。(1・8)

昭和61年度研究発表校の研究動向一覽表

発表月	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料(研究物・講師・助言者)
6月3日	三島小	学習指導	基礎・基本をふまえた効果的な授業を求めて —国語・社会・算数・理科—	基礎的、基本的指導事項の系統表の作成。学習指導案、および単元構造図、教材構造図の研究。学習活動を活発にする効果的な指導法の研究。	・基礎、基本をふまえた効果的な授業を求めて—国・社・算・理— ・教師の記録 ・学習指導案 ・講師、助言者 内田松夫先生
6月13日	上地小	道徳	心豊かに力いっぱいやる子の育成	開校4年目、学校づくりと合わせての道徳の研究実践。主題にせまるため、道徳の時間・生活指導・特別活動一体の実践を推進した。	「心豊かに、力いっぱいやる子の育成」(発表要項) 「道徳年間指導計画」「上地の道徳」 助言者・伊藤四三九先生
6月27日	常磐中	学年学級経営	厳しい自己目標をかかげて励む生徒の育成 —学習指導と生徒指導の統合—	指標生徒の受容と理解から、その負荷環境を調整する支援体制を作る。個の自律を促す活性化や、自己実現が育つ学年学級作りの授業実践。	研究物：研究紀要 資料：発表会指導案 講師：愛教大教授 岩井勇児先生 助言者：同上
9月30日	六ッ美北部小	国語	読解と表現 —音読・朗読を中心として— (自主発表)	生き生きと学習に取り組む子どもの育成を旨として、音読・朗読を中心とした「読解」と「表現」の関連指導を追求している。	・読解と表現 —音読・朗読を中心として— (研究物)
10月14日	本宿小	国語・社会・理科	郷土を調べ、ともに励まし合いながら伸びる子どもの育成 —国語・社会・理科を中心として—	子供たちが郷土本宿を知り、関心をもち、愛着をもってくれることを願って、郷土教材の開発に取り組み郷土学習を教育課程にとり入れた。	・研究紀要 ・自作教材集一本宿のむかし話 ・郷土学習指導案作り ・助言指導…六名小加藤教頭先生、長坂社会科及び竹内理科指導員先生
10月17日	矢作中	生徒指導	やる気と思いやりのある生徒の育成 —すべての生徒に活動の場を—	生徒の活動の場の確保と活動内容の充実・教師の資質の向上・地域との連絡。の三つに視点をおき、生徒指導の充実をめざし実践した。	研究物 「やる気と思いやりのある生徒の育成」 助言者 愛教大 岩井勇児先生
10月21日	井田小	体育	太陽と土に親しみ自ら励む子の育成 —日あてをもって、なかまとともに励む体育学習—	生活の中に運動を取り入れてくれる子、物事に進んで取り組める子を育てるために、日あてをもって、仲間と励む楽しい体育学習を实践した。	研究物 ・研究紀要 ・井田の塔(体育学習実践記録) 講師・丸地八潮先生
10月28日	連尺小	特活・道徳	基本的な生活習慣の育成と徳性のかん養をめざす実践的研究	学校で育てる種々の生活習慣の中から①礼儀作法②整理整頓③健康安全を重点目標とした。道徳の実践学習を中心に研究を進めた。	研究物 「生活指導と徳性のかん養」「道徳年間指導計画」「教師の記録「伸びる子」」 講師 教科調査官 安澤順一郎先生
11月7日	六ッ美南部小	国語・算数・体育	調和のとれた発達をめざす学習指導 —国語科・算数科・体育科に着目して—	検査の結果、日々の学習指導で不十分であった面、国語科読解力。算数科数学的思考力。体育科上半身筋力柔軟性の向上をねらった研究。	研究紀要 B 5 版95頁。指導案綴文集「六ッ南子」計算問題集「数の山びこ」。助言者(国)千田水城(岡)筒井一夫(体)山内満先生。講師指導員先生。
11月14日	河合中	学校安全	安全な生活をめざし意欲的に取り組む生徒の育成 —学級指導・学校裁量の時間を活かして—	学級指導を中核に生活安全および交通安全の指導を進め、具現化や習慣化を修得する場として、自ら築く自ら汗する時間を設け実践を進めた。	・研究紀要 (B 5・94ページ) ・見つめるわれら(安全ハンドブック) ・講師：豊川市立金屋中学校長 牧山諒弘先生
11月21日	岩津小	国語・算数	明るい学級集団の中で、生き生きと学び合う子の育成 —国語科・算数科を中心にして—	基礎・基本的事項をふまえての、学年相応の教材を使って、訓練・理解・活用の学習を通して、一人ひとりの考えを深め表現力を育てる実践。	研究物「明るい学級集団の中で、生き生きと学び合う子の育成」 資料「考えるおけいこ」「はげみ表」 助言者 金井子先生 柴田録治先生 津澤 浩先生
11月25日	広幡幼	造形	あそびの中での造形活動 よろこんでかいたり、つくったりするにはどうあったらよいか。	幼児の生活である遊びの中で、造形活動を偶発的・結果的・意図的造形からみつめて、よろこんでかいたりつくったりする活動の実践。	研究物「あそびの中での造形活動」 講師 名保短大 条 幸男先生 助言者 指導主事 早川円浄先生 成田邦彦先生
12月2日	新香山中	進路指導	自己教育力を高める進路指導 —進路選択力の育成を通して—	進路学習、進路相談、進路情報の提供や調査・検査などを通して、進路選択力を育成し、自己の進路を開発していく自己教育力を養う。	・研究紀要 ・進路指導学習指導案例集 ・進路指導相談事例集 (講師)愛教大 竹内登規夫先生



お知らせ

学校図書館奨励賞

広幡小学校に文部大臣賞

昭和六十一年度東海三県学校図書館奨励賞（東海三県教育委員会等主催）の表彰式が、去る二月十四日、名古屋市中で開催された。

岡崎市からは、管理運営、読書指導、資料整備の四部門全体に優れている広幡小学校が、見事に文部大臣賞に選ばれ、賞状と記念の盾を受けた。矢作南小学校も、同席上で奨励賞を受賞した。文部大臣賞に輝いた広幡小学校は、五年前から「魅力ある図書館づくり」をめざして、全校児童と教師が一体となって取り組んできた。

始業前の十分間読書の励行、学習センターとしての図書館運営。校内科学館、自然館、郷土資料館づくりとその活用など、

- 【寄贈刊行物・資料等】
- ◆ 学校文集 みしま 三島小 A 七三ページ
- ◆ 読書の記録 校務主任会 B 5 孔版印刷
- ◆ 第23回造形おかざつき子展実践記録 図工・美術部 B 5 孔版印刷

児童の学習意欲を重視した図書館づくりの成果が認められ、受賞に結びついた。

県芸術文化選奨
矢作中合唱部に文化奨励賞

去る二月二十三日、本年度の県芸術文化選奨受賞者が決定し発表された。

岡崎市からは、NHK全国合唱コンクールなどで優秀な成績を収めた矢作中学校合唱部が、文化奨励賞に選ばれた。授賞式は三月七日、県庁二階講堂で行われる。

■ 県自作視聴覚教材コンクール
優秀賞に四作品

昭和六十一年度県自作視聴覚教材コンクール表彰式が去る二月十四日、県教育センターで行

われた。岡崎市からは八作品が応募され、七作品の入賞を得た。

▽優良賞（四作品）

- ・ハミリ映画「ねりがらし」
- （視聴覚ライブラリー自作委員会）
- ・ビデオ「電気を送る」
- ・ビデオ「下水のしまつ」
- （ライブラリー・社会科部共同）
- ・ビデオ「オイカワの夏」

▽優良賞（二作品）

- ・ビデオ「えさをはたらく人」
- （視聴覚ライブラリー・社会科部共同）

▽佳作（理科地学サークル作品）

■ 昭和六十二年度岡教組役員

委員長 長谷川四郎（城北中）
副委員長 神尾 昌彦（広幡小）

昭和61年度 岡崎市中学校陸上・水泳最高記録

○印 新記録
△印 タイ記録

陸上競技

性	種目	氏名	校名	記録
男	1年 100m	大賀 義之	津 川	12' 1
	100m	伊東 清川	岩 常	11' 7
	200m	成瀬 徹	南 北	23' 6
	400m	矢田 和成	北 川	52' 9
	800m	兼田 篤	美 城	2' 03' 0
	1・2年 1500m	寺田 裕一	電 海	4' 18' 3
	3000m	神谷 隆幸	北 川	9' 22' 2
	110m H	谷内 篤	電 海	○ 14' 79
	4 × 200m R	服部 田辺	電 海	○ 1' 35' 0
	低 4 × 100m R	清水、坂倉、岡部	電 海	48' 3
女	走高跳	森 泰雄	美 川	○ 1.93
	棒高跳	大滝 忠正	美 川	3.20
	走 幅 跳	神尾 幸夫	六ッ美	6.37
	砲丸投	江戸 学	電 海	14.00
	三種競技A	大沼 正英	南	2891点
	1年 100m	小方 ゆか	矢 北	13' 7
	100m	中村由貴子	甲 山	13' 1
	200m	倉橋素乃子	甲 山	26' 8
	800m	井上 雅子	電 海	△ 2' 20' 1
	100m H	鈴木 優子	福 岡	15' 6
子	4 × 100m R	高嶋、勝又、倉橋、中村	甲 山	52' 5
	低 4 × 100m R	倉地、彦坂、渡辺、安沢	新香山	54' 4
	走高跳	神谷 美貴	甲 山	1.56
	走 幅 跳	平松久美子	電 南	5.07
	砲丸投	星野 晶子	甲 山	11.64
	三種競技A	桑子 良恵	南	2548点

水泳競技

性	種目	氏名	校名	記録
男	100 自	中野 勉	矢 作	59' 82
	200 自	千葉 智雄	電 海	2' 07' 90
	400 自	中根 幹久	矢作北	○ 4' 31' 39
	100 平	加納 幹浩	東 海	1' 14' 57
	200 平	高木 清規	福 岡	2' 44' 63
	100 背	鴨下 剛	矢作北	○ 1' 07' 2
	200 背	鴨下 剛	矢作北	○ 2' 31' 2
	100 バタ	神谷 英二	美 川	1' 04' 16
	200 バタ	神谷 英二	美 川	2' 35' 1
	200 個メ	田尻 和仁	矢作北	2' 25' 3
女	400 混R	鴨下・中根・岡田・菅田	矢作北	○ 4' 32' 74
	400 R	中根・永井・菅田・鴨下	矢作北	4' 01' 06
	100 自	久永 順子	電 海	1' 03' 57
	200 自	久永 順子	電 海	○ 2' 15' 57
	400 自	鈴木 美花	城 北	5' 04' 22
	100 平	加納満津代	東 海	1' 22' 28
	200 平	中根由加里	矢作北	3' 01' 71
	100 背	鈴木 麻里	甲 山	1' 16' 8
	200 背	田中 里美	葵	2' 53' 63
	100 バタ	川原場仁子	岩 津	1' 12' 1
子	200 バタ	川原場仁子	岩 津	2' 43' 4
	200 個メ	岡田 治子	矢作北	○ 2' 37' 53
	400 混R	都築・三宅・附柴・久永	電 海	5' 04' 84
	400 R	落合・秋山・杉山・間山	矢 作	4' 33' 06

- （常南小 三浦重光）
- ▽優良賞（二作品）
- ・ビデオ「えさをはたらく人」
 - ・ビデオ「地域を見る」
- （視聴覚ライブラリー・社会科部共同）
- ▽佳作（理科地学サークル作品）
- 昭和六十二年岡教組役員
- 委員長 長谷川四郎（城北中）
副委員長 神尾 昌彦（広幡小）
- 書記長 鈴木 忍（新香山小）
書記次長 酒井 久男（電美丘小）
組織部長 夏目 恒男（上地小）
情宣部長 柴田 哲郎（六ッ美中）
教文部長 松井 伸市（城南小）
副対部長 鈴木 榮二（矢作中）
調査部長 山本 信夫（美川中）
会計委員 石川 守彦（葵中）
青年部長 水野 昌孝（矢作北中）
婦人部長 山田 一恵（電海中）

名古屋市立 本宿郊外学園



ハートピア岡崎

泉

本宿郊外学園は、名古屋市で戦災孤児となった子供達を収容するための福祉施設として、上衣文町消信寺の寛堂を仮の校舎・宿舎にし、昭和二十一年二月開設された。

昭和二十四年、上衣文町猿田地内に校舎竣工、翌年増築（現ハートピア）二十七年宿舎（現働く者の山の家）が完成した。

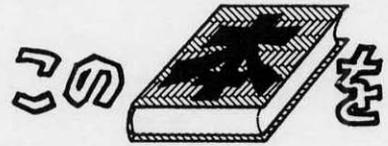
昭和四十一年十二月名古屋市へ移転するまで、小学生から中学生まで、多いときには百五十名の子供達がここで生活をしていた。

開設当初、学習は雨天時に行い、天気がよければ、畑仕事や、山へ薪を取りに行くなど、自給

自足の生活をしてきた。その一方、男子には竹細工づくりなどの職業指導、女子には情操教育として、音楽と舞踊の指導に力を注いだ。

そして、お礼と練習成果の発表のため、各地で音楽と舞踊を公演したところ、大変好評で子供達は自信を持つことができたという。時には、教師の家に宿泊させ、家庭の温かさを体験させたりして、人と人との触れ合いを大切にしたのである。

こうしたことから、教師と子供との絆は強くなり、戦後四十年過ぎた今日でも当時の教師を親代わりに頼ってくるという。



- * ビジネスマンの父より
息子への30通の手紙 城山三郎訳 ￥1500
新潮社
- * 詩集 チューリップの歌 江口季好 ￥1200
百合出版
- * こころの歳事記 清水公昭 ￥1300
講談社
- * 優しさという階段 灰谷健次郎 ￥980
理論社

- * 「誤り」の心理を読む 海保博之 ￥480
講談社

これからのコンピュータ社会においては、より人間的な生き方・考え方が要求される。そのためには、まず「誤るのは人間の本性」であり、「積極的に生きるから誤る」のだと考えて、むしろ「誤りの効用」を生かして「いきいきと誤る」ことができるようにすべきだと、「誤りのすすめ」をしている。

中心になっているのは教育の問題で、教師として思い当たることが多い。文章も平易で、例証も幅広く、説得力がある。

親がわりを勤めた本宿郊外学園の先生達。孤児達に自信を持たせるため、並々ならぬ苦勞があつたようだ。しかし、戦後四十年近くたつ今も、教え子から相談を受けるし、毎年クラス会に招待されるところれしそうに話される。親身

になつて子供たちの面倒をみた、教師の満足感を感じた。

して（司手）わき（脇）つれ（連）じ（次）六名の謡曲の練習会を日曜日の午後見学に訪れた。

神奈川からプロの先生を招いて小鼓に合わせて謡う底力のある響きに、意味や幽玄の味は分からないながらも、その迫力に圧倒された。正式な能舞台で舞をしながら謡曲を鑑賞する思いがした。

シ

オ

ス

ア

朝日を受けて、そこだけ一段と輝いて見える葵博会場の建物。一号線を東へ美らつとその姿を見せてくれる。私達が取材に訪れた時には、いてつく泥土の中で溶接の火花が散っていたのに。

知恵と技能の粋を結集し、岡崎の未来をかけて幕開けの日も近い。

スパーマン：あの空を飛ぶ……と考えるのは常識だが、「イミダス」（集英社版）の流行語欄では「スパー」へよく買い出しに行く男」とある。

時代とともに、人の生きざまも、ことばの意味もうつりかわっていく。そんななかで、変わることなく本質を見守った教育の場を持ち続けたい。